

中小企業・IT産業振興委員会

中小企業業・IT産業振興委員会では、会員中小企業・IT企業の課題解決を図る事を目的とし、JIRAの活性化に向けた事業展開を行った。新規入会会員の多くがIT関連の中小企業であることから、IT関連企業への働きかけを積極的に行った。目的達成のため5つの専門委員会を設置し、事業を推進した。東京開催の研修会では、インターネットを活用し大阪でも同時開催を行い地域への活動支援ができた。

2017年度は、JIRA活動基本方針に掲げられた「中小、IT関連企業の経営力強化のため、情報共有、ビジネスマッチング活動、(中略)、セミナー開催など、実効性のある施策を展開し、会員企業数を拡大」、および「政府の健康・医療戦略である医療システムの海外輸出に連携し、(中略)、会員企業の海外進出支援を推進」を受け、各国規格・制度の国際整合推進、新興国の市場情報収集、行政機関やJETROなどと協調した活動を通して、会員企業の海外進出支援を推進していく。

この方針を達成するため中小企業・IT産業振興委員会では、JIRAを活用した会員中小・IT企業の課題解決を図る事を目的とし、JIRAの活性化に向けた事業展開を行う。また、新規入会会員の多くがIT関連の中小企業であることから、IT関連企業への働きかけを積極的に行う。委員会として、新規事業の実施を通しJIRA会員企業に中小企業・IT産業振興委員会の内容を理解してもらいより多くの会員に委員会参加を促す。

インターネットを活用した東京、大阪研修会同時開催はいくつかの課題が生じ、今年度はそれら課題を解決し満足度の高いものとする。

1. IT産業専門委員会

1.1 活動実績

医療ICTの中で中小企業・IT企業の関心が高くホットな話題をテーマに選定し、医用画像システム部会と共同でIT特区勉強会を開催した。いずれも時機を得たテーマで好評であった。

(1) 8月：テーマ；人工知能の医療への応用

- (a) 経産省ヘルスケア産業課課長 江崎禎英氏「医療における新産業創出と国の政策」
- (b) 電気通信大学教授 庄野逸氏「ディープラーニングの医用画像への応用」
- (c) 日本アイビーエム(株) 小林俊夫氏「人工知能の医療への応用事例」

(2) 2月：テーマ；セキュリティ、個人情報保護法

- (a) 独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) 石井茂氏「サイバー攻撃の脅威と情報セキュリティ対策の重要性について」
- (b) JIRAセキュリティ委員会 副委員長 西田慎一郎氏「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン解説」
- (c) 個人情報保護委員会 生駒隆康氏「改正個人情報保護法についてのガイドライン」

1.2 2017年度活動計画

「保健医療分野におけるICT活用推進懇談会」では、「ビッグデータ活用やAIによる分析」、「ICTを活用した遠隔診療や見守り」、「地域や全国の健康・医療・介護情報ネットワーク」お

よび「ビッグデータ活用によるイノベーション」が取り上げられている。

2017年第2回IT特区勉強会では、これら医療ICTを推進するに当たって必要な情報セキュリティ、個人情報保護をテーマにセミナーを開催したが、今年度は、上記医療ICTの中で中小企業、IT企業の関心が高くホットな話題をテーマに選定し、医用画像システム部会と共同でIT特区勉強会を開催する。

開催時期（予定） 第1回：2017年7月、第2回：2018年1月

2. 事業経営専門委員会

2.1 活動実績

事業経営専門委員会は、会員企業の事業拡大・発展（国内外）のための展示会等への参加促進等を企画推進している。いきなりの海外進出は難しいので、まず一度、視察する機会を作ることが重要だと考え、RSNA（北米放射線学会）併設展示会の視察ツアーを、昨年引き続き実施した。3泊5日の日程で5社9名が参加し、大手メーカーのブースを含め展示ホールの視察を行った。

中小企業にとっては、若手社員を海外出張に積極的に送り出すということが業務・コスト面などで難しいので、JIRAのサポート下でこのような経験を後押しできることは「育成」という観点から意義のあることと考えられる。

2.2 2017年度活動計画

2017年度は昨年度に続き、海外展開支援に重点を置く。

国内市場の伸び悩みの中、中小企業も海外展開による事業展開を迫られているが海外進出に関しては、市場動向の把握、現地での法規制のクリア等ハードルは高く、中々実行できていないのが現状である。会員企業の海外展開の支援となる情報の収集、分析を行い、施策を企画立案し実施する。

また、RSNA2017への視察ツアーを企画し、参加企業を支援する。

3. 学術専門委員会

3.1 活動実績

日本放射線技術学会（JSRT）との連携を主体に事業を推進した。

- (1) 4月JIRAワークショップ（第72回JSRT総会学術大会）
- (2) 5月カタログ展示（第70回JSRT東京支部春期学術大会）
- (3) 6月JSRT東京支部施設見学会
- (4) 10月JIRAワークショップ・JIRA発表会（第44回JSRT秋季学術大会）
- (5) 1月JSRT東京支部ジョイントミーティング
- (6) 毎月「日本放射線技術学会雑誌」への「JIRAトピックス」の寄稿

3.2 2017年度活動計画

日本放射線技術学会（JSRT）との連携を主体に事業活動を推進する。

- (1) 第73回JSRT総会学術大会 [2017年4月14日、パシフィコ横浜]
・JIRAワークショップ（JSRT共催）
テーマ；グローバル社会をキーワードに、DITTA関連のテーマで検討中。
- (2) 第71回JSRT東京支部春期学術大会 [2017年5月20日駒澤大学（東京）]

- ・関連学セッション
テーマ：2016年JSRT秋季学会のJIRA発表会から5～6演題発表予定。
- ・カタログ展示、JIRAテクニカルレポート51号の配布も予定
- (3) JSRT東京支部施設見学会 [2017年6月頃]
JIRA会員企業の見学を予定。
※中小企業・IT産業振興委員会、学術専門委員会からの自主参加で対応する。
- (4) 第45回JSRT秋季学術大会 [2017年10月19日～21日、広島国際会議場]
JIRAワークショップ、JIRA発表会、JSRT-JIRAジョイントミーティングを開催予定。
- (5) 第35回JSRT東京支部秋期学術大会 [2017年11月頃]
関連学セッション、カタログ展示を実施予定。
- (6) 東京支部ジョイントミーティング [2018年1月頃]
JIRA会員企業の新製品・新技術紹介を実施予定。
- (7) JIRAトピックス寄稿 [毎月]
JSRT学会誌への寄稿に対する原稿募集を行う。

4. 教育・研修専門委員会

4.1 活動実績

各部会・委員会と連携しながら、定期的な研修会、タイムリーな研修会を企画運営した。

- (1) 4月ITEM2016研修会 --- JIRA会員の中小企業の若手社員の教育のため、会員大手出展企業のご協力により4組計40名の見学研修を実施した。毎年定員を大幅に超える申込があり大好評であった。
- (2) 6月JIRA活動報告会 --- 平成28年度JIRA定時社員総会の開催に先立ち、第5回JIRA活動報告会を開催。2015年度の活動結果が各部会・委員会から報告された。
- (3) 12月画像医療システム産業研究会 --- 「医療分野のICT利活用」をテーマに取り上げ、有識者の方々を招いて以下の講演と質疑応答を行った。受講者アンケートでも評価の高い有意義な講演会であった。
 1. 基調講演 医療・介護・健康ICT基盤の構築
藤本康二氏（内閣官房 健康・医療戦略室 次長）
 2. 病院のICT利活用 病院のICT化の現状と将来 ～IoTが拓く情報化医療の未来～
黒田知宏氏（京都大学医学部附属病院 医療情報企画部 教授）
 3. 医用画像処理 治療に直結した医用画像処理とビッグデータ解析
～CT画像からの人体解剖の自動認識と治療支援～
佐藤嘉伸氏（奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
生体医用画像研究室 教授）
 4. 遠隔画像診断 遠隔医療の大潮流と遠隔画像診断の将来展望
～遠隔画像診断サービスの普及に向けて～
長谷川高志氏（日本遠隔医療学会 常務理事）

4.2 2017年活動計画

各部会・委員会と連携しながら、定期的な研修会、タイムリーな研修会を計画する。

- (1) 4月、ITEM2017研修会（出展各社のご協力をいただき実施）
- (2) 6月、活動報告会
- (3) 12月、画像医療システム産業研究会

- (4) 7月、2月、施設見学・研修会

5. 地域育成専門委員会

5.1 活動実績

各地域の会員企業の参加を拡大するため、東ブロックおよび西ブロックを設置し、研修会（見学会）・講演会などを企画・運営した。

- (1) 4月：2016 国際医用画像総合展 研修会（東ブロック）（教育・研修専門委員会共催）
- (2) 7月：浜松ホトニクス工場見学会（西ブロック）
- (3) 8月：診療報酬セミナー（東京、大阪開催）（東ブロック・西ブロック）

5.2 2017年活動計画

- (1) JIRA会員企業への委員会への登録参加を呼びかけ、参加会員企業を拡大する。
特に、関西地域での会員企業の登録参加を拡大する。
- (2) 研修会・講演会など
 - (a) 東ブロック・西ブロックにて、各々年1～2回程度企画する。
 - (b) テーマ案として、①医療機器・医療技術の知識・動向、②薬機法などに関する医療行政の動向。
 - (c) 医療関係の施設見学会を、年度内に1～2回程度企画し、参加者を募る。
 - (d) 各ブロック主催の行事は他ブロックも参加・協力し、JIRA全体にも広く呼びかける。
教育・研修専門委員会とも協力・連携して開催する。各ブロックにて好評だった研修会などは、他ブロックでも開催し、情報共有を図る。



H28年 6月 JIRA 活動報告会



H28年10月 JIRA 発表会



H28年12月 画像医療システム産業研究会



H29年 2月 IT 特区勉強会